

放課後等デイサービス事業所における自己評価の集計結果(公表)

令和 5年 3月13日

事業所名 高槻市立療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6			・利用定員における一人当たりの利用面積は十分確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・指定基準人員は満たしているが、同性介助での対応が難しいときがある。
	3	事業所の設置等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			・園自体がバリアフリーの構造になっている。
業務改善	4	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・会議などを通じて、職員間連携を密にし情報共有するよう努めている。 ・会議を多く持つようにして職員全員の意見を集めている。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・毎年度保護者に事業所評価のアンケート調査を実施し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	6			・社会福祉協議会のホームページにて公開している他、園内に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	・外部評価を受けたことがない。機会をとらえて受けていきたい。
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4		・受けてきた研修を他の職員に伝達することで、研修がみんなのものとなるよう工夫している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・個別支援計画書を作成するにあたり、事業所内で支援会議を開いて子どもと保護者のニーズや課題の整理を行うようにしている。 ・児童発達支援ガイドラインに示されている「本人支援」に基づいて計画作成するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	・アセスメントツールの活用、子どもの各期の適応行動の評価は必要であると思う。導入を検討したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・会議等で職員全員がどんなプログラムを行っていくかを検討し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6			・「またやりたい」「もう一回やりたい」と思えるようなプログラムはどうしても繰り返してしまう。繰り返すことも保障しつつ、少しでも目先を変えるような取り組み方をするよう努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1		・平日は子どもたちの学校生活や生活全般に負担とならないような活動プログラムを設定するようにしている。休日や長期休暇には、時間をかけて取り組める内容を設定するようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画が作成されているか	4	2		・集団での活動を主なプログラムとして組むようにしている。それ以外の時間は個別での活動とし、できる限り集団での活動時間をもてるよう努めている。

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		・職員が時差勤務であったり他業務を兼務していたりするため、誰もが確認できるように書面でその日の支援計画案を立てている。全員出席は難しいが、打ち合わせの時間を可能な限りもてるよう努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	2		・支援終了後以外にも、定期会議など話し合いの機会を多く持つようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・支援記録を活用し、モニタリングの際の根拠としている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・モニタリングの時期にはケース会議を開き、計画の見直しの必要性についての討議を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		・十分にできていない。今後、ガイドラインについて職員間で研修を行っていきたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・コロナ禍で会議形態も多様化しているが、可能な範囲で参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		・各自保護者を通して学校との情報共有をさせてもらっているケースが多いが、学校によっては直接連絡調整を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2		・医療者との連携が必要な場合は保護者との情報共有を丁寧に行う中で、指示書の記入など連絡体制を取っている。 ・緊急搬送する必要がある際には、保護者から直接かかりつけ医(病院)に連絡を入れてもらって対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		・利用児のほとんどが通園事業を利用されていたが、こまやかには情報共有や相互理解を図る機会を設けられていないので、今後は連携に努めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	2	・保護者から希望のあるケースには情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・特に外来リハビリテーションを受けておられる方は、担当のセラピストに助言を求めることがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	・取り組んではいない。機会があれば保護者の意向を確認しながら対応したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	3	・子どもワーキング開催の会議や研修会には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・送迎時や外来リハビリテーションなどで来園された時にその日の状況など都度お伝えしている。
29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	・十分にはできていない。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・利用開始にあたっての面談の際に、時間を設けて説明するようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3		・モニタリングの時期に、話す機会をもつようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	5	・保護者同士が繋がれるような場を設ける必要は感じている。保護者の負担を増やさないことも大切で、場や機会の設け方に苦慮している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・苦情については、迅速に対応を行うようにしているが、苦情対応の体制整備を更に進めるよう努めたい。
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		1	5	・おたよりやお知らせなどはなかなか発信出来ていない。今後、検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・法人で規程を定め、適切に対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・保護者には、伝えやすい時間帯や方法でコンタクトをとるよう心掛けている。 ・子どもには様々なツールを活用して意思疎通を図るようにしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	・地域からの要望等あれば随時受け入れている。	
非常時等の対応	38	緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4		・感染症○、緊急対応時△(警報や災害時は○)、防犯×。 ・マニュアルの周知が不十分なものがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・避難訓練を年に2回程度行ってるが、救出など訓練内容の充実にも努めていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		・園内の虐待防止委員会で今後、研修を行っていく予定である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	2	・計画はチームで会議を開き立て、決定している。拘束等の緊急対応が必要な利用児が在籍した時は、保護者と話し合い対応方法をサービス計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			・医師の指示書に基づいて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・ヒヤリハットを活用して放デイ事業内では情報を共有している。